

数学

関西学院大学 全学部日程 [理系] (2/1実施)

<全体分析>

試験時間 90 分

解答問題数

4 題

解答形式

[1] [2] [3] 空所補充式 [4] 記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

計算量が多かった昨年に比べると、落ち着いた印象である。

その他トピックス

特になし

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1]				
(1)	式と証明	数学Ⅱ	分数式を含む恒等式	やや易
(2)	確率	数学A	異なる数字が書かれたカードに関する確率	やや易
(3)	数列の極限	数学Ⅲ	等差数列とその和、極限	標準
[2]	三角関数	数学Ⅱ	正二十四角形の面積、3倍角や5倍角	標準
[3]	ベクトル	数学B	空間ベクトル、四面体の体積	標準
[4]	微分法・積分法	数学Ⅲ	対称性のある関数、面積	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

6つの分野から、多くの小問に分かれて出題されている。

空所補充式の問題も誘導が丁寧で、勉強してきた成果が結果に現れやすいが、計算ミスには気をつけたい。

「しっかりした方針を立てて、最後まで正確に計算できる」ことを目標にして、どの分野についても確実に解けるようにしよう。